

公表日

2026年 3月 20日

事業所名

こぼんはうさくら 高坂駅前教室

保護者等数(児童数) 29名

回収数 19件(割合65%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	7	2	1	少し狭いように感じます。	教室の作り上、人数が多い日などは少し手狭な場合がある為、グループに分けた活動を行う、屋外の活動などを取り入れるなどして、工夫を行っていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	4	0	3		基準人員以上の人数を配置できるよう努めている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	0	2		施設自体そこまで複雑な構造をしていない為、お子様にも分かりやすい上、障害となるものもなく過ごしやすい環境になっていると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	3		毎日朝・夕と教室内掃除と消毒を行い、清潔な環境での生活・支援ができるよう心掛けている。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	0	1		保護者様や関係機関との情報交換や、個々のお子様の特性理解を通して適宜その子に合った支援を提供できるよう努めている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	2	0	1		公表しているプログラム通り支援を行っているが、その日のお子様の特性や状況に応じて変更する場合もある。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	1		保護者様や関係機関との情報交換を都度行い、それをもとに支援計画作成を行っている。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	2		固定化しないよう毎月プログラムについての話し合いを行い、工夫を行っている。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	5	4	7		なかなか外部施設との交流や地域のこどもとの合同活動などは提供できていない為、今後できるような体制を整えていく。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	1		基本的に必ず利用開始前に各項目の読み合わせを行うようにしている。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	5	1	2		保護者会やサロンなどを通して家族支援を行っているが、ペアトレ等はまだまだ組み込めておらず、今後の課題と感じている。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0		日々の送迎時に必ず当日のお子様の様子についての共有などを行っている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	1		定期的な個人面談や保護者会、進路相談などを通して助言などを行うよう努めている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	1		送迎時や保護者様のお迎えの際に都度ご家庭の様子やお困りごとをヒアリングを行い、保護者様のお悩みや相談に応えられるよう引き続き対応していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	1	3		定期的なサロンの開催や保護者会などを通して、できるだけ各ご家庭の状況やお悩みを共有できる場を設けるよう努めている。きょうだい向けのイベント等はまだまだ実施した事がない為、今後上記イベントと並行して開催できるような計画を立てていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3	0	1		保護者様からのご相談やお悩みをお伺いした際にはできるだけ早期に担当に繋ぎ対応を仰ぐが、内容によっては関係機関に連携を仰ぐなどとして、それぞれのご相談にできるだけ迅速に対応できるよう努めている。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2	0	1		送迎時や連絡帳などを用いて、利用児童の状況だけでなく、保護者様のご意向やご家庭の状況についても把握をできる範囲を広げて対応できるよう配慮を行っている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	0	1	・HUGをもっと使用した方がいいのではないのでしょうか!?	HUGをはじめ既存のシステム機能をまだ完全に活用できていない為、無理のない形で少しずつ利用の幅を広げていき、公表の場と幅を広げていきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1		不要な個人情報等はシュレッターにて破棄するようにしている。 パソコンにはウイルスなどの漏洩リスクを抑えるソフト等を入れて対策している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	3		訓練は定期的に行い、特に避難訓練等お子様との合同訓練はこぼん通信等を通じて保護者様にも共有を行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	2		訓練は定期的に行い、特に避難訓練等お子様との合同訓練はこぼん通信等を通じて保護者様にも共有を行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2	0	2		事故はもちろん、ヒヤリハットなども送迎時に必ず保護者様に共有・説明を行うよう徹底している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	1		安心・安全を心掛け、支援を行っている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	2	0	1	いつも楽しかったと帰ってきます。以前1の様に外遊びにも行ってほしいなと思います。	最近は屋内での活動がメインとなっている事が多い為、お子様の状況や人数に応じて外での遊びなども積極的に取り入れていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	1		お子様・保護者様にご満足いただける様引き続き支援内容の充実と向上に努めていく。

公表日

2026 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 高坂駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	利用人数が多い時は特にスペースが狭く感じる時がある為、グループに分けるなどして工夫を行っている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	送迎や関係機関との会議などで待機職員が少ない場合がある為、お子様が安全に過ごせるよう毎月の各職員の動向を把握した上、配置人数を多くできるように調整を行っている。	・配置は満たしているが、日により支援の先生が少ないと感じる時もある。 ・子どもの動きを常に大人がしっかり把握できるくらい人数は担保できている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	施設の構造上夏場などは日差しが強く差し込む場合がある為、日除けのシェードなどを設置している。	・座る場所により、日差しが暑く感じられる時がある。 ・視覚から入る情報が多く、理解しやすい。 ・日差しが入り込む関係で、個別課題等がやりにくい時がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	常に消毒等を行い、清潔な環境だと思う。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	リラックスマームなどを快適に使えるよう整理を行い、上手くスペース活用ができるよう調整していく。	クールタイムに使える別室があると良いと思う。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		日々職員同士で話し合いを行い、振り返り等を行うよう心掛けているが、送迎等で時間を確保できない時がある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		会議等で評価表の内容にある事項を話合ったりするが、業務改善に繋がるまでには至っていない。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	職員の話を良く聞き、常に気を使って頂いている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		現状最低限度の研修にとどまっている為、今後職員の資質向上や自己啓発に繋がる内容の研修を実施していきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	毎月配信しているこぼん通信と同タイミングでプログラムを公表するようにしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者様・関係機関の話や日々の職員の所感などをもとに計画を作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	お子様に一番のウェイトを置き、計画の作成から支援内容、保護者様への対応もを行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画の内容は共有を行う事はもちろん、いつでも確認できるよう工夫している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	パソコンの共有ソフトなどを用い、日々の状況やこだわりなど、変化が分かるよう記録を取っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	必ず放デイ職員同士で話し合いを行いながら、活動プログラムの立案から実行を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・子ども達の課題や苦手などを考えてプログラムを考えていると思う。 ・いろんな活動を工夫されていて、勉強になる。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		必ず一日の中で個別活動と集団活動の時間を設けており、適宜お子様に合わせた支援を行っている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	時間の関係で打合せができない場合は、書面やパソコン内の日報などを通じて情報共有を行っている。	打合せできる日とできない日がある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援終了後にできなかった場合は、後日振り返りを行っている事がある。	できている時とできていない日がある。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の支援内容については、連絡帳や日報だけでなく、個々のお子様の様子を共有し検証・改善ができるよう共有ソフトを活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なモニタリングと職員同士の話し合いを通し、計画の見直し等を検討している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	・発語のない児童に対し、写真等でおもちゃなどが使いたいか選択できるような工夫している。 ・やりたくない事、苦手な事への配慮があり、子どももストレスが少ないと思う。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	原則お子様の状況や様子をよく理解している児発管が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	行政や他関係機関とは連携を密に行い、支援に活かすよう対応している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	日々の送迎時に先生方と情報共有できる状況を作っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	相談員を通して共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	就学前のお子様の情報を交換する場を設ける様対応している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	0		児童発達支援センターとはなかなか連携を取れてはいない。今後機会を図って連携を取ってきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		現状地域のこどもと合同で行う活動などは行っていない為、今後季節のイベントなどを通して交流を図ってきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	0		児童福祉だけでなく福祉事業所全般の協議が多く、あまり頻回には参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	子ども達の日々の違いを共有してくださっていると思う。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	送迎時やモニタリング面談時にアドバイス等行っているが、研修や講演など今後家族支援に繋がる試みも行ってきたい。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	ご契約開始前に必ず説明を行っている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	定期的な保護者様との面談や個別支援計画の更新アセスメントを通して、お子様にどうなってほしいのかという意思の確認とお子様の希望などを確認し、尊重するよう支援を調整している。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	親身になって相談等、対応していると思う。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	0	保護者会や個別面談、保護者同士のサロンなどを設け、保護者同士での交流の機会を創出しているが、きょうだい同士の交流の機会はまだ設けられていない為、今後創出できる機会を探っていく。	保護者同士の交流はあるが、きょうだい同士は交流の機会がない。 今後きょうだい同士で交流ができる機会を創出していけるよう調整に努める。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	アセスメントシートや定期面談、送迎時などにご利用者の意向をヒヤリング等行っている。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月配信のこぼれ通信をはじめ、LINE等を活用し配信を行っている。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の記載のある書面はキャビネット保管を厳守していたり、社内のパソコンは外部へ原則の持ち出し禁止にしていたりと取扱いには気を付けている。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	日々の申し送りを通して、お子様の意思をくみ取り保護者様へ共有したりしている。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		地域イベントの参画や交流の場の創出などは現状できていない。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		職員への周知は行っているが、利用者家族への周知は行っていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	研修、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	薬剤師である管理者のもと、薬の服用管理などを行っている。	食物アレルギーの有無はあるが、指示書の対応がわかりません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギー持ちのお子様がいる場合、必ず指示書や対応方法を共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		研修訓練や安全計画については最低限のもので留まっている為、今後は役割分担などを行いながら研修の幅や安全計画などの拡充を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	有事の際の安全確保の方法については保護者様へご説明するよう努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	共有ソフトを用い、ヒヤリハットの共有を行うと同時に、朝礼・夕礼で前日・当日のヒヤリハットを確認し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1		研修については現状最低限の内容で留まっている為、今後は更に内容を充実させて、角度高く虐待の防止に繋げていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	研修・訓練等を行っている。	